

2026年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	デジタルサウンド演習Ⅰ
授業の種類	授業担当者	実務経験
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	神田武士	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

[実務経験歴]

カワイ音楽教室のギター講師グレード資格を取得
 2023年度 大分県民文化祭に大阪より演奏で出演 USJ
 『Thanks Love Month2025』 XEXPO2025 コラボイベントにギターで参加 その
 他TVCM、Free BGM楽曲参加、慰問演奏、イベントなどにも出演

単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 (30 回)	60 時間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択

[授業の目的・ねらい]

①デジタル音源と生楽器を融合させる音楽制作力の育成

[授業全体の内容の概要]

既存のMIDI楽曲を分析・整理し、生楽器を効果的に取り入れるためのアレンジ設計や役割分担、録音を通して楽曲全体の再構築を行う。

[授業終了時の達成課題(到達目標)]

[準備学習の具体的な内容]

毎授業ごとに必ず簡単な復習を行い次回に繋げる

[使用テキスト]	[単位認定の方法及び評価の基準]
使用テキスト	定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。
参考文献	評価基準
必要に応じて授業の中で紹介する。	定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

1回	ガイダンス・授業の目的
2回	MIDI楽曲の分析（構造・役割）
3回	アレンジの役割分担（どの音は何をしているか）
4回	不要なパートの整理（引き算）
5回	生楽器を入れるための空間作り

6回	テンポ・グルーブの見直し
7回	ダイナミクス設計（起伏）
8回	まとめ・振り返り①
9回	生楽器を入れる意味とは
10回	ギターが映えるアレンジ設計
11回	ピアノが映えるアレンジ設計
12回	MIDIと生の役割分離
13回	録音前の最終設計
14回	演奏ニュアンスの設計（どんな表現にするか）
15回	まとめ・振り返り②
16回	生楽器録音（方向性重視）
17回	テイク比較（良い演奏とは何か）
18回	MIDIと生演奏のズレの扱い
19回	あえて揺らす／揃える判断
20回	音の“馴染ませ方”（質感調整）
21回	アレンジ再調整（録音後の変化）
22回	まとめ・振り返り③
23回	音の前後関係（奥行き）
24回	空間演出（リバーブの意味）
25回	聴かせたい音の強調
26回	曲全体のストーリー設計
27回	“伝わる音”への仕上げ
28回	最終調整（引き算の徹底）
29回	作品発表・意図説明
30回	まとめ・振り返り④